

他の分野別事業

1 快適さを支える生活基盤の向上

■ 公園施設長寿命化事業	2,200万円
■ 地域生活交通再編事業	1億4,707万円
■ 防災情報伝達システム整備事業	1億4,908万円
■ 津・鈴鹿・亀山3市消防指令業務共同運用事業	367万円
■ 消防庁舎及び関分署自家用発電設備改修事業	347万円
■ 地域防犯カメラ設置支援事業	70万円
■ ごみ溶融処理施設大規模整備事業	1億4,190万円
■ 鈴鹿関跡学術調査事業	537万円
■ 関宿重伝建選定40周年記念事業	256万円



2 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

■ アプリdeウェルネス推進事業	399万円
■ がん検診推進事業	8,125万円
■ がん患者支援事業	42万円
■ 生活困窮者自立支援事業(自立相談支援事業等)	2,880万円
■ 介護保険地域支援事業・地域包括支援事業	6,092万円
■ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	574万円
■ 福祉医療費助成事業(心身障がい者)	1億4,988万円



3 交通拠点性を生かした都市活力の向上

■ 亀山ブランド推進事業	200万円
■ 観光プロモーション推進事業	236万円
■ 地域活性化企業人の活用(観光振興事業・地域活性化起業人事業)	460万円
■ 亀山7座トレイル整備・活用推進事業	289万円
■ 創業等支援事業	444万円
■ リニア中央新幹線整備促進事業	130万円
■ リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業	3,555万円



4 子育てと子どもの成長を支える環境の充実

■ GIGAスクール構想推進事業	5,646万円
■ 教育支援センター事業	1,105万円
■ 個の学び支援事業(小・中学校)	9,438万円
■ 福祉医療費助成事業(子ども)	2億744万円
■ 放課後児童クラブ事業	2億1,461万円
■ 長期休暇子どもの居場所事業	540万円
■ 学校給食費等に係る保護者負担の軽減	1,400万円



5 市民力・地域力の活性化

■ 市民活動応援事業	883万円
■ シティプロモーション推進事業	252万円
■ 移住交流促進事業	403万円



6 行政経営

■ 庁舎建設基金積立事業	1億円
■ 行政情報システム事業(住民情報系)	1億4,226万円
■ 窓口入力支援システムの導入(戸籍住民基本台帳管理費)	418万円



令和6年度に実施したその他の事業についても、市ホームページで公開しています。詳しくは、検索してください。

行政評価 第2次総合計画 亀山市

検索

特別会計

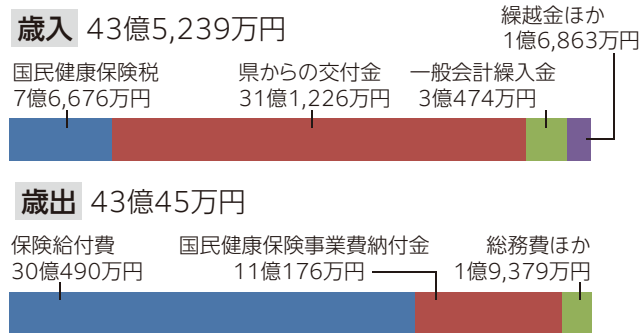
一般会計からの繰入金

国民健康保険事業	3億474万円
後期高齢者医療事業	6億7,385万円

特定の事業を行う場合に、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合、一般会計とは別に特別会計を設けており、亀山市では現在、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業の2つの特別会計があります。特別会計全体の決算額は、歳入が約56億7,864万円、歳出は約56億1,985万円、歳入から歳出を差し引いた額から、翌年度に繰り越す財源を控除した実質収支額は、約5,879万円となりました。

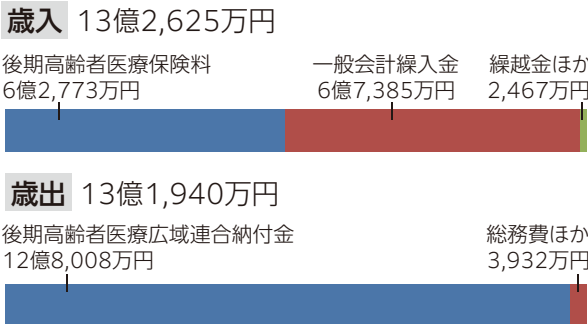
国民健康保険事業

令和6年度末の加入世帯数は5,122世帯、被保険者数は7,462人でした。医療費(自己負担分を除く)を保険給付費として国民健康保険事業特別会計から支出しました。



後期高齢者医療事業

75歳以上(一定の障がいがある場合は65歳以上)の高齢者を対象とした医療制度で、令和6年度末の被保険者数は7,567人でした。保険者である三重県後期高齢者医療広域連合へ医療費の給付等の事業に係る経費の負担を行うとともに、市の事業として各種届出の受付、保険料の収納事務等を実施しました。



企業会計

一般会計からの繰入金

下水道事業	8億2,600万円
病院事業	2億8,233万円

地方公営企業法の適用を受けて設置する、自治体でも収益が認められている特別な会計であり、原則として独立採算制による業務運営が求められています。令和6年度決算においては、水道事業、工業用水道事業、下水道事業、病院事業の4つの企業会計となります。

水道事業

第1水源系基幹管路の耐震化整備工事への着手、辺法寺加圧ポンプ場の非常用発電設備の設置、みどり町等の配水管の改良工事を行うなど、施設の耐震化と安定稼働に努め、安全でおいしい水の安定供給を行いました。

収益的収支(水道料金などでの収支)	
水道事業収益	14億3,171万円
水道事業費用	12億52万円
差引額	2億3,119万円
資本的収支(施設建設などでの収支)	
資本的収入	9,100万円
資本的支出	5億8,142万円
差引額	△4億9,042万円

工業用水道事業

工業用水として4企業に1日平均1,644㎡を供給しました。また、水源や施設の定期的な維持管理を行うことにより、良質で安定した水の供給に努めました。

収益的収支(工業用水道料金などでの収支)	
工業用水道事業収益	8,548万円
工業用水道事業費用	5,203万円
差引額	3,345万円
資本的収支(施設建設などでの収支)	
資本的収入	0万円
資本的支出	2,697万円
差引額	△2,697万円

下水道事業

公共下水道事業では、井田川・能褒野、本町南部の各処理分区にて管渠布設工事を、また、井田川・能褒野処理分区で長寿命化対策工事を行いました。農業集落排水事業では、施設の計画的な更新・修繕およびポンプ施設などの点検や清掃を行いました。令和6年度末には、供用面積1459.1ha、処理区域内戸数14,667戸、普及率79.7%になりました。

収益的収支(下水道使用料金などでの収支)	
下水道事業収益	16億2,327万円
下水道事業費用	15億7,524万円
差引額	4,803万円
資本的収支(施設建設などでの収支)	
資本的収入	10億1,884万円
資本的支出	14億7,851万円
差引額	△4億5,967万円

病院事業

病床数は90床(うち地域包括ケア病床27床)で、年間延べ22,443人が入院し、延べ39,208人が外来を受診しました。老朽化した施設設備の修繕や、高度医療機器(超伝導磁石式MR装置、全身用X線CT診断装置)の更新を行い、病院の機能強化を図りました。

収益的収支(経常収支)	
病院事業収益	16億8,751万円
病院事業費用	17億9,485万円
差引額	△1億734万円
資本的収支(施設建設などでの収支)	
資本的収入	1億6,403万円
資本的支出	2億1,274万円
差引額	△4,871万円